

わかたけ



ねん しんしゅん むか 「2021年 新春を迎えて」

あら とし あいさつ もう あ みなさま
新たな年にあたり、ご挨拶を申し上げます。皆様におかれましては、
しんしゅん すこ むか よろこ もう あ
新春を健やかに迎えられていることとお喜び申し上げます。

さくねんちゆう どうほうじん じぎょうけいえい たい おお かたがた きやうりよく あつ
昨年中は当法人の事業経営に対しまして、多くの方々よりご協力いただき厚く
おれいもう あ か さまざま くふう ていきやう
御礼申し上げます。そして、コロナ禍で様々な工夫をしながらもサービス提供ができ、
じぎょうけいかく すいしん ほか かんしゃ もう あ
事業計画の推進が図れたことに感謝を申し上げます。



さて、さくねん しんがた かんせんぼうし あく ねん がつ く かんせん きやうかくだい
さて、昨年は、新型コロナウイルス感染防止に明け暮れた1年でしたが、12月の暮れから、感染が急拡大する
なか あたら とし むか ことし さくねん ひ つづ かんせんぼうし たいさく じゆうぶん とく
中で新しい年を迎えることになりました。今年も、昨年に引き続いて感染防止対策に十分に取り組み、このコロナ
か けんざい か あら かだい ふく しやう かた けんこう せいかつじやう かだい たい しつ たか
禍で、顕在化した新たな課題も含め、障がいのある方たちの健康や生活上の課題に対して、質の高いサービスの
ていきやう つと おも
提供に努めていきたいと思っています。

また、さくねん がつ たやう たいおう じぎょうてんかい ぎやうむかんりたいせい きやうか ほか しせつちやうじんじ
また、昨年の4月、多様なニーズに対応した事業展開と業務管理体制の強化を図るため、施設長人事を
じっし しよかいかく じっこう とく く ことし ひ つづ かいかく すず ちいき ふくし
実施して、諸改革の実行に取り組んできたところです。今年も引き続きこの改革を進め、地域の福祉ニーズに
たいおう さまざま じぎょう とく かんが
対応できる様々な事業に取り組んでいきたいと考えております。

がつ ちゆう きけいけいけいかく さいしゅうねん ど はい じつげん む こども おとな たやう
4月には中期経営計画も最終年度に入ります。そのビジョン実現に向けて、「子供から大人までの多様なサー
じぎょうてんかい か しえん たいおう つうしよしゃ さぎやうしつ けんしゅうしつ ふくし ひなんじやとう たもくてきしつ そな
ビスの事業展開」と「コロナ禍の支援に対応する通所者の作業室および研修室・福祉避難所等の多目的室を備
さいふえん さぎやうしつ しせつせいび すず まい
えた宰府園作業棟」の施設整備を進めて参ります。

ほんねん なにとぞ か かわらぬ しえん たまわ よろ ねが もう あ
本年も何卒、変わらぬご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

2021年1月 社会福祉法人 宰府福祉会
理事長 草本 武俊

『コロナ禍の中でも日常を守るために！』

～障害者入所施設における年末年始の過ごし方～

障害者支援施設 宰府園

新年おめでとうございます。

昨年 4 月に緊急事態宣言が発出されて以来、新型コロナウイルスの感染予防対策に追われる日々が続いています。一方で「新しい生活」にも少しずつ慣れてきました。この年末年始は特にそれを実感できた貴重な時間でした。

宰府園通所は 12 月 29 日～1 月 3 日までの 6 日間がお休みでした。12 月中旬にまず、帰省・外出をストップすることを決めました。昨年 4 月以降、ほぼ園内生活のみを続けている皆さんにとってはストレスが増すばかりです。ほんのひと時でも笑って過ごせる時間



はないかと考え、12 月 24 日には、利用者自治会主催の親睦会を開催し、1 年間の歩みをコロナ感染防止の様子と共に振り返り、また、亡くなった友を偲ぶ D V D (職員制作) を鑑賞しました。心の整理がつく良いひと時だったと思います。騒がずとも穏やかに和やかに過ごせることを実感できました。1 日元旦は豪華なお節を味わい、2 日はリラックスタイムとしてハンドトリートメントを実施。3 日は「すみれ園」とリモート交流をしました。

今、宰府園では、日常の生活を当たり前にするということの大切さを痛感しています。食事や睡眠はもちろん、整容や買物など今まで当たり前に行っていたことを「新しい生活」にどう変えていくのか。外出せずとも清潔を心掛け身ぎれいにすることを、利用者だけでなく職員も強く意識するようになりました。館内や居室の清掃にも力を入れて取り組んでいます。自分の身の回りのことを自分で考え、自分ですることの大切さ、尊さなどを生活の中から学べる機会にもなっています。今後もまだ、コロナとの戦いは続くと思われれます。「できないこと」を嘆くよりも「どうすればできるか」と工夫し知恵をしぼって過ごしてきた今までの時間を無駄にせず、利用者みなさんとともに乗り越えていきたいと考えています。

最後に、コロナ禍のため対面販売が難しい中で、ご家族はじめ自治会、地域のみなさん、関係機関の皆様において、今年の干支(丑) や新商品が好評で多くの方々にご購入して頂きました。明るい光も見え、私たちの活力になります。応援して下さったことに心から感謝致します。ありがとうございました。今年も一丸となって頑張ります！！

(宰府園施設長 大内田 美津子)



わがたけアルバム

児童発達支援センター すみれ園



障害福祉サービス事業所 やまもも



『みんなの心を1つに！今年度の運動会』

運動会は、子どもたちが普段頑張っていることを応援してくれている方の前でやりきり、達成感を味わうことができる行事の一つです。毎年、園庭の周りには、ご家族の方・地域の方でいっぱいになります。

しかし今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け開催の検討から始まりました。職員の「形を変えても、子どもたちの達成感を味わう場面をつくりたい」「その姿を少しでも保護者の方へ」という思いと感染対策を行うことで開催を決定。感染症対策として、開催を2日に分け参加人数をできるだけ減らすこと、心苦しいですが保護者の方の応援も1名でお願いをしました。お子さんの競技毎に消毒の徹底を行いました。

保護者の方や地域の方からあたたかいお声をいただき、おかげさまで、今年度も子どもたち一人ひとりの頑張っている姿を見ることができました。

『小さな楽しみの積みかさね』

新型コロナウイルス感染症の流行により、やまももの活動にも中止や縮小など様々な影響があり、利用者の皆さんは不安な日々を過ごされてきました。さらにコロナ禍で求められる新しい生活様式は、環境やスケジュールの変更が苦手な方たちにとって、より多くの頑張りを必要とするものでもあります。そのため利用者の皆さんが楽しみながら、コロナ禍での地域生活で活かすことのできる習慣を獲得していただけるよう、施設内で買い物の活動をするにしました。

最初は戸惑いが見られた方も、今では入店時の消毒や前の人との間隔を空けて並ぶ、レジでのソーシャルディスタンスに慣れ、楽しんで買い物する姿が見られます。今後も感染防止に努めながら活動に工夫を凝らし、小さな楽しみとやりがいを積み重ねることで、利用者の皆さんの情緒の安定と生活の充実を図ってきたいと思います。

『小学校とのリモート交流～離れていても心は伝わる～』

ゆり工房では毎年、春日小学校と大谷小学校と交流活動を行っています。例年はゆり工房に小学生が見学に来たり、作業体験や体育館でレクリエーションを行う等、直接の触れ合いの中で楽しい活動をしているのですが、今年はこのコロナ禍です。いつものような交流はできません。そこで担任の先生がゆり工房で作業や活動の様子を撮影し、それを小学生に見てもらい、後日ゆり工房職員が小学校へ出向いて子供たちの質問に答えるという形で実施しました。また、12月21日から3日間に渡り、春日小の5年生3クラスと、リモートでの交流会も行いました。画面を通してではありますが、クイズやマジック、リコーダー演奏等もあり、楽しい時間を過ごすことができました。コロナ禍の中で直接触れ合うことはできませんが、心通う交流でお互いのことを知る良い機会を持つことができました。

障害者就労支援センター ゆり工房



障害者生活支援センター にじ



『世界で輝く小さな街第3位の糸島に行ってきました！』

今年度の旅行は、20周年という事で一泊旅行を計画していましたが、コロナ禍の中でも安心安全にと、近場で楽しめる糸島を選びました。当日は天気にも恵まれ、昼食では地元で採れた魚を使っの懐石料理に舌鼓を打ちました。またインスタ映えで有名な砂浜で写真を撮ったり、散歩やお土産を買ったり、地元で人気の卵“つまんでご卵”を使用したソフトクリームも楽しむこともできました。

通常であれば、1台のバスに乗り込みワイワイいきたいところですが、3密を避け、日程も2日間に分け、バスも2台、走行中は換気をしながら、さらに万が一に備えての緊急車両も同行。普段はマスクが難しい方も、食事中、バスの中とマスク着用での新しい生活様式を守りながらも楽しい旅となりました。

宰府福祉って、どんなところ???

ライフステージに応じた法人内サービスをシリーズでお伝えします。

幼児期（～6歳）

学童期（6～18歳）

成人期（18歳～）

今週お伝え



●児童サービス

【児童発達支援】 すみれ園
【保育所等訪問】 すみれ園
【受託事業】 にじいろキッズ
(那珂川市療育センター)

【放課後デイ】 すみれ園
【受託事業】 つくしんぼ
(太宰府特別支援学校放課後等支援事業)

【受託事業】 障害児等療育支援事業
(福岡県受託事業)

計画相談

●相談系サービス
【計画相談・障がい児相談】 やまもも・すみれ園相談支援センター

住む

●居住系サービス
【施設入所支援】 宰府園
【グループホーム】 GHやまもも・アンダンテ・春日ホーム
【短期入所】 宰府園・GHやまもも

働く

●就労系サービス
【就労継続B型】 宰府園・やまもも・ゆり工房（受託）
【福祉の一般就労】 さぼーと春日

活動

●日中活動系サービス
【生活介護】 宰府園・やまもも・ゆり工房（受託）・にじ（受託）
【日中一時】 やまもも・ゆり工房（受託）

訓練

●訓練系サービス
【就労移行】 ゆり工房（受託）
【自立訓練】 にじ（受託）

訪問

●訪問系サービス
【居宅介護・同行援護・移動支援】 宰府園在宅サービス

第1回「児童発達支援センターすみれ園」(幼児期～小学校に上がる前)

すみれ園は、発達がゆっくりなお子さんたちや発達にアンバランスさがあるお子さんたちの発達支援や、家族支援、障がいがあっても育ちやすく暮らしやすい地域づくりを支援することを目的とした施設です。今回は、幼児期（小学校に上がる前）のお子さん対象の事業についてご紹介します。

●児童発達支援

主に、3歳～5歳の就学前のお子さんの通所支援を行っています。幼児期は、一人ひとりのペースで生活の基礎を獲得しながら心を育む大切な時期です。お子さんたちのこれからの人生につないでいくために、お子さんたちの生活に必要な力や思いを育みながら、今現在の発達状態等を保護者の方と一緒に把握することに務めます。同時に保護者の方と成長したことを一緒に確認しています。一人ひとりに合った目標で、個々に配慮した支援を行っています。

すみれ園の大切にしていることは、お子さん一人ひとりの「笑った顔」「思いやる心」「創る喜び」「選ぶ気持ち」です。お子さんたちのもっと「知りたい」・「できるようにになりたい」「一緒に〇〇したい」という願いに応えるために、集団の中で、大好きなことや得意なことを見つけ出し、活かし、生活の中でちょっと頑張って達成感を感じられるように支援していきます。ここで出会った人たちと共に育ちあっていくチームづくりを目指しています。



集団・あそび

楽しみながら、様々な体験を通し自分の体の使い方を知り、友だちや先生とのかかわりの中でおしまい・順番・交代などのルールを知っていきます。仲間への関心、コミュニケーションの力を伸ばすことなど、一人ひとりのねらいをもって遊びを支援しています。



お子さんについて職員間で共有するための会議



●保育所等訪問支援

現在、地域の保育園・幼稚園等に通うお子さんで、楽しく集団生活を送るために支援が必要な場合に、当園スタッフが訪問しています。また、園や学校の先生方と現状把握をし、必要に応じてアドバイス、お子さんへの直接支援を行いながら、地域において安定した集団生活を送ることができるよう支援しています。地域の保育園・幼稚園等の先生方からお子さんのことを話しながら、地域で暮らすお子さんを応援するチームの一員になることを目指します。

●受託事業「那珂川市療育センターにじいろキッズ」

那珂川市にお住まいのお子さんで、心配なこと、気になることがある保護者の方の相談をお受けしています。

また、必要に応じて継続的にお子さんの個別やグループ療育を通して保護者の方とお子さんの育ちについて確認します。

また、地域支援として市内の幼稚園・保育園の巡回を行っています。



※次回は、学童期以降のお子さんへの支援について、ご紹介予定です!!